

# 混沌に決着つけられず

制で行われた。それは、単独過半数を維持しえなくなった自民党と、保守二大政党による政権たらい回しを画策した現在の新進党結集部が中心となり、三年前に実現された。小選挙区制は、改憲をも射程に入れた戦後保守政党念願の制度に他ならなかつた。この制度は、周知のように少数派を排除し、相対的な大政党に投じられた票数以上の過大な議席を付与するものであ

## 没落する「中道」、保守2大政党への接近

十月二十日実施された総選挙は、自民三百三十九、新進百五十六、民主五十二、共産二十六、社民十五、さきがけ二、その他十議席で終了した。自民党は過半数を獲得し得なかつたとはいえ二十八議席を増し、新進は後退、民主は横ばい、共産躍進、社民・さきがけは解散直前の分裂を含め壊滅的な惨敗となつた。

かくして、自民党中央政権の継続が確定となつた。財界は選挙結果をござつて歓迎し、「限りなく(自民党)単独政権に近づく」政権を主張した。結果は、社民・さきがけ両党との政策協定を結びはしたが、自民党(非過半数)单独政権となつた。

小選挙区制下でも  
過半数獲得できなかつた自民党

## 戦略的総反抗を準備しよう

## 現代帝国主義への

制で行われた。それは、単独過半数を維持しえなくなった自民党と、保守二大政党による政権らしい回しを画策した現在の新進党結集部が中心となり、三年前に実現された。小選挙区制は、改憲をも射程に入れた戦後保守政党念願の制度に他ならなかつた。この制度は、周知のように少数派を排除し、相対的な大政党に投じられた票数以上の過大な議席を付与するものであ

いわゆる「五五年体制」の崩壊、わが国ブルジョア政治の限界の露呈と再編は、一方では冷戦体制終結後の国際政治・経済の変遷の産物である。冷戦の終結は、米帝と世界支配を競つたソ連社会帝国主義(ソビエト)の瓦解により、超大国＝米帝の独霸状況を生み出した。この世界体制の変動は、世界各地での民族、宗教対立、また内部対立を加速した。東方のカンボジアから西

る。事実、今回の総選挙では、死票率は五四・七%に達し、前回の二四・七%の倍以上となつた。死票率は、自民では三一%、新進五一%、民主七七%、日共では九八%に達した。

こうした経緯にもかかわらず、自民党は単独過半数を回復することはできなかつたのだ。

同時に、五九・六四%という戦後最低の投票率は、今日の政党政治・議会への抜きがたい不信の赤裸な表明に他ならない。自民党は議席を伸ばしたとはいえ得票率は小選挙区二二・四%、比例代表で一八・六%といずれも最低だつた前回の二四・三%をさらに下回つた。消費税三%

措置、加えて十八兆円の減税という新進党の「契約」は、文字通りのデマゴギーであることは誰もが見抜いていた。政策不分明、

## 総反抗を準備しよう

ヘルツエゴビナ  
チエンから南の  
帝国主義の民  
また政治支配  
めぐる「紛争」が  
しかし、ゆづく  
落の道を歩む米  
単独でこれらの  
「を鎮圧する力  
秩序」形成をめ  
どしながらも列  
体制の再編が図  
に、本質上の差異はない。相違  
は、主に手法をめぐるものである  
る。かかる両者に「(小選挙区制)」  
なのに政策が争点とならない  
た「など」という評価は、ま  
たく的外れ以外のなにもので  
ない。  
同時に、かかる国際上の大変  
動の中、小ブル的な城内平和と  
権力政党との対抗上、旧東洋

が再来するわけではなく、大臣病で豹変!本質がさらけ出された民主党が総スカンをくらうのは当然であった。そして、これらすべての消去法で、日共が議席を増やしたにすぎない。

九三年七月の前回総選挙で、いわゆる戦後の「五五年体制」は崩壊した。以後、わが国のブルジョア政治はいわば漂流してきた。細川、羽田、村山、橋本と首相のめまぐるしい交替が、これを示している。彼らは、いずれも次の時代へのリリーフ役にすぎない。今回の総選挙は、この過渡期にケリをつけるというものではなかつた。

られた。かくして、世界第二の経済力を有する日帝への応の負担が要求された。

を描き出せもせず、新保守主導とはそりが合わず、「五五年制」の影を色濃く持ち強いて、ちらかといえば己に近い自民に走り、没落をかえつて加速した。

この間、もつとも再編の渦巻き込まれたのは中道派であった。先述したように一部は新守に溶け込み、一部は没落した。民主党はかかる流動いちじるしい中道の新しい再編形態に他

11 · 29	11 · 23	11 · 17
11月29日（金） かめありりり、	11月23日（土） 日比谷野外音 呼びかけ／二 其	11月17日（日） 千駄ヶ谷区民 主催／反戦反
96反戦反核	沖縄・本土を	

11月9日(土)

し、彼らは「市民」とか「地域」が戦後民主主義の価値観を押出し、一種のリベラル性を持つとして、転換を図る傾向にすぎない。

自民党と新進党の議席を合せるならば、全体の約八割を認めざることとなつた今次の選挙は、世界史の大転換の中

核東京集会  
を結ぶ軍事基地縮小・撤去の構想  
（日）午後1時  
会館  
及核東京集会実行委

工) 午前 10 時  
労働組合連絡協議会（全労協）  
公会館  
云実行委

[2面] ハイテク

【1面から】

## 総選挙

## 混沌に決着つけられず

否応なく進展してきたこの間の政党再編を加速させるものであつた。それは、中道の没落保

守二大政党への方向を、じんわりと進めた。

## 高度経済成長への懐旧

とはい、今次総選挙の影の主役は、経済にある。バブルが弾けた後遺症はいぜん続いている。好収益を回復したのはビッグ・ビジネスのみであり、それも容赦ないリストラ(結局は大合理化、人員削減、下請けの切り捨て)の産物にすぎない。それは、当然にもしわ寄せを相対的な弱者と人民に押しつけるものであり、結果として矛盾と停滞を加速させていた。

現代的質をもつた  
革命党建設を

一方財政は総額四兆円をこえる赤字を脱却する展望をまったく見いだせていない。官僚機構は既得権益を守ることに汲々とし、これまでの手法がいたるところを継び、限界をさらし、腐臭を放っているにもかかわらず、その自覚さえ欠けている。

日本経済が成熟したこと。高度経済成長はとくに終焉を迎えたこと。列強のうち、いわゆる「日本型経営管理」合理化、低賃金労働者の権利の圧迫などによって、輸出主導でひとり勝ち続けることはできないこと。ましてや、土地株などが右肩上がりに上昇し、高級品が飛ぶように売れ、「漏れ手に悪」のバブル経済を再現しないこと。すべてこれらのことは自明である。発展し、成熟を遂げ

た国は徐々にか、急激であるかを問わず、下り坂を転げ落ちていくしかない。これは歴史の真実である。しかしながら、社会と国家が客観的におされた状況と人々の意識とは、必ずしも一致するわけではない。逆に、状況の悪化にもかかわらず、昔日の繁栄の記憶から、人は容易に抜けだし、そしてすべての政党が、このような事態に対して有効な方策を提示しえなかつたし、もちろん実行しえなかつた。

日本経済が成熟したこと。高度経済成長はとくに終焉を迎えたこと。列強のうち、いわゆる「日本型経営管理」合理化、低賃金労働者の権利の圧迫などによって、輸出主導でひとり勝ち続けることはできないこと。ましてや、土地株などが右肩上がりに上昇し、高級品が飛ぶように売れ、「漏れ手に悪」のバブル経済を再現しないこと。すべてこれらのことは自明である。発展し、成熟を遂げ

た國は徐々にか、急激であるかを問わず、下り坂を転げ落ちていくしかない。これは歴史の真実である。逆に、状況の悪化にもかかわらず、昔日の繁栄の記憶から、人は容易に抜けだし、そしてすべての政党が、このような事態に対して有効な方策を提示しえなかつたし、もちろん実行しえなかつた。

日本経済が成熟したこと。高度経済成長はとくに終焉を迎えたこと。列強のうち、いわゆる「日本型経営管理」合理化、低賃金労働者の権利の圧迫などによって、輸出主導でひとり勝ち続けることはできないこと。ましてや、土地株などが右肩上がりに上昇し、高級品が飛ぶように売れ、「漏れ手に悪」のバブル経済を再現しないこと。すべてこれらのことは自明である。発展し、成熟を遂げ

た國は徐々にか、急激であるかを問わず、下り坂を転げ落ちていくしかない。これは歴史の真実である。逆に、状況の悪化にもかかわらず、昔日の繁栄の記憶から、人は容易に抜けだし、そしてすべての政党が、このような事態に対して有効な方策を提示しえなかつたし、もちろん実行しえなかつた。

日本経済が成熟したこと。高度経済成長はとくに終焉を迎えたこと。列強のうち、いわゆる「日本型経営管理」合理化、低賃金労働者の権利の圧迫などによって、輸出主導でひとり勝ち続けることはできないこと。ましてや、土地株などが右肩上がりに上昇し、高級品が飛ぶように売れ、「漏れ手に悪」のバブル経済を再現しないこと。すべてこれらのことは自明である。発展し、成熟を遂げ

## 9・28 京 反安保実がシンポジウム

九月二十八日午後六時より、東京の豊島区民センター・文化ホールで、「県民投票後の沖縄とわれわれの課題と題したシンポジウムが開催され、約九十名の仲間が結集した。主催は、

豊田さんは、「県民投票を前

の意を示したのである。人々

の投票に行くこと自体の心理的

重さを考えれば、大きな数字で

う読みとることもできよう。しかし、大量の棄権、一定の批判票の日共への集中、自民党にせよ投票率の低下などの事態は、現状は流動的であること

を物語っている。革命的左翼は、この総選挙に直接噛むことはできなかった。議会を革新的宣伝

戦略をかちとつていかなければならぬ。現代帝國主義の矛盾と限

界が噴き出す中で、これと真に

対決し、これを転覆に導きえる

貧富の差を拡げ、失業を増大させている。われわれは、就業希望者のすべてに仕事を保証し、

貧富の差を拡げ、失業を増大させている。われわれは、就業希望者のすべてに仕事を保証し、

女性差別とのたたかいにおいてわれわれは、とくに、われわれ自身に内在してきた融和主義

差別に対するたたかいにおいてわれわれは、とくに、われわれ自身に内在してきた融和主義

差別に対するたたかいにおいてわれわれは、とくに、われわれ自身に内在してきた融和主義

への懐旧は、まさに、当面している政治・経済上の課題に的確な対応を迫られている。のみならず、現代帝國主義の矛盾と限

界が噴き出す中で、これと真に

対決し、これを転覆に導きえる

貧富の差を拡げ、失業を増大させている。われわれは、就業希望者のすべてに仕事を保証し、

女性差別とのたたかいにおいてわれわれは、とくに、われわれ自身に内在してきた融和主義

への懐旧は、まさに、当面している政治・経済上の課題に的確な対応を迫られている。のみならず、現代帝國主義の矛盾と限

界が噴き出す中で、これと真に

対決し、これを転覆に導きえる

## &lt; 試論 &gt;

## 3 俊樹

(前回の続き)以上見てきたよ。うに、一九一七年ロシア革命からはじまつた国際共産主義運動の壮大なたかいは、連続的に全世界にわたる社会主義政権をうち建てることなく、いつたん大きく振り戻され、地球のあらゆる地域に至るまでブルジョア独裁体制が、資本主義的商品経済が再びその規模と深さを増してうち建てられんとしている。われわれは、プロレタリアー

トの血と汗と涙の歴史の上に築かれてきた国際共産主義運動がいつたん世界史的な敗北に見舞われることに対し、いかなる諭弁も弄する必要はない。否、この敗北の教訓こそが共産主義社会の実現を一步人間社会に近づけることとなるとの確信を強

めずにはおかない。肅清と密告の恐怖と官僚制が、所詮社会主義の名を被せようと人民の決起の前に脆くも崩れ去らざる

をえないことが証明されたのである。

ただし、それがプロレタリ

アート全体の確信となるために

は、総括はあらゆる角度から汲み尽くされ定式化されなければならぬ。また、そうされうるに十分なさまざまな教訓を残している。すなわち、課題が提出されたということは、それを解決する条件が存在するということに他ならないからである。

われわれは、この課題を果たすためにこそ、国際共産主義運動の総括をこの歴史の節目に果たす必要性と必然性がある。

アジーの封建社会に対する三世紀近いたたかいに比するとき、まだ半ばの歴史しか経つてない。まして共産主義運動が人類の前史を終わらせる性格をもつてあるとき、この百五十年の歴史は、世界史のスパンにおいて長すぎることはない。われわれもブルジョアジーの封建社会打倒の三大決戦にならない、三度目の大決戦を準備していかなければならぬ。その革命は、

二期の準備を宣言する時代は、二期と区別される下部構造上の変化と、その上部構造たる思想政治状況においても第三期を語るさまざまな指標をわれわれの前に提示している。

第二期と区別される下部構造上の変化と、その上部構造たる思想政治状況においても第三期を語るさまざまな指標をわれわれは、この課題を果たすためにこそ、国際共産主義運動の総括をこの歴史の節目に果たす必要性と必然性がある。

## 3 国際共産主義運動の第三期

⑦

国際共産主義運動は、その第一期(一八四八—一九一七)の資本主義の生成・発展期の七十年間、これはマルクス主義の成立と発展に一致していた。第二期(一九一七—一九九二)の資本主

義の成熟・爛熟期に相当する七

十年間、これは理論が実践の場で確かめられるとともに、新たな問題を生みだし、プロレタリア階級の未熟さを余すところなく暴き立て、さまざま痛苦な教訓を後のプロレタリアのため残した。そして、そのこと

百五十年間の歴史は、ブルジョ

アートに巨大な教訓を残した。

これまでの国際共産主義運動

は、その生産のある段階で、そ

れらがそれまでその内部で運動

## 国债費

96年度(百万円)	95年度(百万円)	比較増△減額(百万円)
16,375,197	12,947,941	3,427,256

	96年度(百万円)	95年度(百万円)
国債償還	3,676,614	1,444,207
定率繰入分	3,298,146	—
発行差減額繰入分	181,562	—
産業投資特別会計受入金相当額繰入分	119	1,148,861
予算繰入分	196,787	295,346
借入金償還	868,393	—
計	4,545,006	1,444,207
国債利子等	10,721,442	10,311,781
借入金利子	781,701	785,568
大蔵省証券割引料	—	273,000
計	11,703,143	11,370,349
国際事務取扱費	127,048	133,384

96年度(百万円)

95年度(百万円)

比較増△減額(百万円)

16,375,197

12,947,941

3,427,256

## 本紙の定期購読を

なぎ倒し、世界レベルの国際占資本による世界市場の再編と、という形で現在進行中である。この三十年間にわたる資本の著しい世界化は、全世界にプロレタリアーの部隊を創出した。言葉の本格的な意味合いにおいて、プロレタリア世界革命の物質的土台が形成されたのである。生産力は十分あるにもかかわらず、五十五億人口のうち八億の人が飢餓状況におかれているこの社会制度は、早晚打

倒されざるをえない。また他方、資本主義的生産様式が二十世紀末までに到達した式が二十世紀末までに到達した生産力の発展は、いまや末期的

倒されざるをえない。利潤の獲得を目的とする資本主義的生産様式は、すでに地球環境を破壊し、人類の生存を脅かすところ相を見せ始めている。利潤の獲得を目的とする資本主義的生産様式は、今まで生産力の発展は、人類の破滅への道となることが階級を問わず共通の認識にいたらんとしている。

において、プロレタリア世界革命は、まだ半ばの歴史しか経っていない。まして共産主義運動が人類の前史を終わらせる性格をもつてあるとき、この百五十年の歴史は、世界史のスパンにおいて長すぎることはない。われわれもブルジョアジーの封建社会打倒の三大決戦にならない、三度目の大決戦を準備していかなければならぬ。その革命は、

過去の伝統との完全な絶縁を成し遂げ、資本主義社会の最後の証跡を一掃するまで継続されるものとなる。今日、国際共産主義運動の第

三期の準備を宣言する時代は、

第二期と区別される下部構造

の変化と、その上部構造たる

思想政治状況においても第三

期を語るさまざまな指標をわれわれの前に提示している。

第二期と区別される下部構造の変化と、その上部構造たる思想政治状況においても第三期を語るさまざまな指標をわれわれは、この課題を果たすためにこそ、国際共産主義運動の総括をこの歴史の節目に果たす必要性と必然性がある。

第三期の準備を宣言する時代は、

第二期と区別される下部構造

の変化と、その上部構造たる

思想政治状況においても第三

期を語るさまざまな指標をわれわれは、この課題を果たすためにこそ、国際共産主義運動の総括をこの歴史の節目に果たす必要性と必然性がある。

第三期の準備を宣言する時代は、

第二期と区別される下部構造

## 問われていること

「マルクス主義者たるものは、階級闘争の承認にまで拡張するもののみである」(レーニン)

アーティスト独裁の承認にまで拡張するもののみである」(レーニン)。表されるロシアの共産主義者が、この思想を実践に貫いて革命を勝利に導いた。それを契機にその後数十年、この思想は共産主義者の態度を律するもつとも中心的な思想となつた。とりわけ今世紀半ば、植民地諸国において反帝民族解放戦争が燎原の火のごとく燃え広がるという時代を迎えた。それら諸国の共産主義者はその先頭に立つてたたかう、「政権は銃口から生まれる」(毛沢東)を実践していった。

わが国の共産主義者も、戦前・戦後を通して国家権力問題を中心据えてきた。

五〇年代末以来現代修正主義と対決して共産主義運動の革命的再生を目指して奮闘してきたわが共産主義者同盟も、テロリズムにも陥った国家権力問題に崩壊する。この事件は、社会主义たいする小ブル急進主義的偏向を正し、日帝打倒・米帝一掃・プロ独立樹立の政治路線を確定することが、まずもつて問われたのであった。

もちろん、共産主義運動にとって、国家権力がどの階級の手中にあるかということは、常に第一級の課題であるし、権力奪取の途上にある共産主義運動にとって、国家権力を手にしたアーティストがどのようないいことがある。だがロシアを皮切りにプロレタリア国家権力が樹立され始める時代を迎えると、権力を手にしたアーティストが現実に問われるようになつた。更にまた、プロレタリアートが一旦権力を掌握したロシアで、官僚ブルジョアジー(官僚制国家資本主義)の成長と権化」と半ば美化し、あるいはそ

力篡奪をゆるしたという歴史的経験は、国家権力の問題と不可分に、建設すべき共産主義社会の内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路線を推進する官僚ブルジョアジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官僚ブルジョアジーに対しても小ブル共産主義的空論をもつてしか対決できず、「十億人を食わしくいく」という重い課題を大義に掲げる官僚ブルジョアジーの反撃の前に敗退してしまつたのである。ちなみにその後中国の官僚ブルジョアジーは、周知のように、文革を鎮圧した勢いをテコに自己が立脚する官僚制国家資本主義の改革に手をつけ、帝国主義諸国の金融独占資本の多国籍展開に連動した中国の資本主義的発展の中に自己の延命の道を模索していく。

そして九〇年代初頭、ソ連

・官僚制国家独占資本主義が、

ロシア革命の栄光を道連れに崩壊する。この事件は、社会主义たいする小ブル急進主義的偏向を正し、日帝打倒・米帝一掃・プロ独立樹立の政治路線を確定するところだけではなく、ソ連の体制を厳しく批判していたはずの革命を信奉してきた現代修正主義の左翼をも破綻状況に陥れいく。革命的左翼の危機は、單に外的な情勢的なものではなかつた。それは、綱領的確信におけるそれが共産主義運動にいたるかのところでは、常に第一級の課題であるし、権力奪取の途上にある共産主義運動にとって、国家権力がどの階級の手中にあるかということである。だがロシアを皮切りにプロレタリアートがどのようないいことがある。だが現実に問われるようになつた。更にまた、プロレタリアートが一旦権力を掌握したロシアで、官僚ブルジョアジー(官僚制国家資本主義)への親近性は、ソ連の体制を括弧付きであれ「労働者国家と

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論

の崩壊を「大反動」と嘆くといつた態度にはつきり現れた。

問題点の第二は、同じことの

・内実の問題を一段と浮上させたのであった。

そうした中で中国の文化大革命は、官僚制国家資本主義の路

線を推進する官僚ブルジョア

ジーに対する「継続革命」を提起した。だが文革の紅衛兵は、官

僚ブルジョアジーに対しても小

・革命の目標

・革命の主体

・革命理論